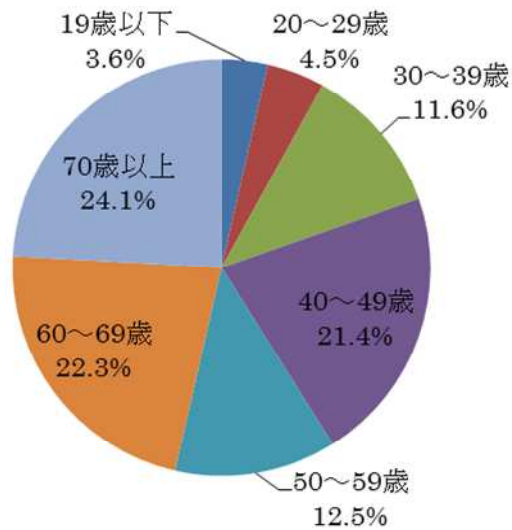




問2 あなたの年齢をお伺いします。(回答は1つ)

1	19歳以下	4	40～49歳	7	70歳以上
2	20～29歳	5	50～59歳		
3	30～39歳	6	60～69歳		

選択肢	回答数	回答分布
19歳以下	4	3.6%
20～29歳	5	4.5%
30～39歳	13	11.6%
40～49歳	24	21.4%
50～59歳	14	12.5%
60～69歳	25	22.3%
70歳以上	27	24.1%
計	112	100.0%



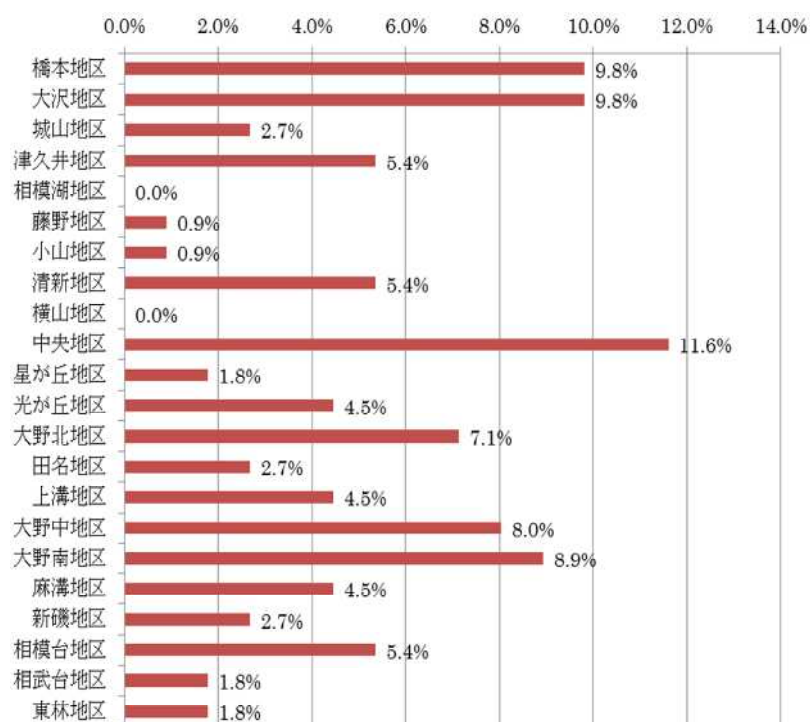
n=112

回答された方の年齢層は以上のとおりです。

問3 あなたのお住まいの地区をお伺いします。(回答は1つ)

緑区	中央区	南区
1 橋本地区	7 小山地区	16 大野中地区
2 大沢地区	8 清新地区	17 大野南地区
3 城山地区	9 横山地区	18 麻溝地区
4 津久井地区	10 中央地区	19 新磯地区
5 相模湖地区	11 星が丘地区	20 相模台地区
6 藤野地区	12 光が丘地区	21 相武台地区
	13 大野北地区	22 東林地区
	14 田名地区	
	15 上溝地区	

選択肢	回答数	回答分布
橋本地区	11	9.8%
大沢地区	11	9.8%
城山地区	3	2.7%
津久井地区	6	5.4%
相模湖地区	0	0.0%
藤野地区	1	0.9%
小山地区	1	0.9%
清新地区	6	5.4%
横山地区	0	0.0%
中央地区	13	11.6%
星が丘地区	2	1.8%
光が丘地区	5	4.5%
大野北地区	8	7.1%
田名地区	3	2.7%
上溝地区	5	4.5%
大野中地区	9	8.0%
大野南地区	10	8.9%
麻溝地区	5	4.5%
新磯地区	3	2.7%
相模台地区	6	5.4%
相武台地区	2	1.8%
東林地区	2	1.8%
計	112	100%



n=112

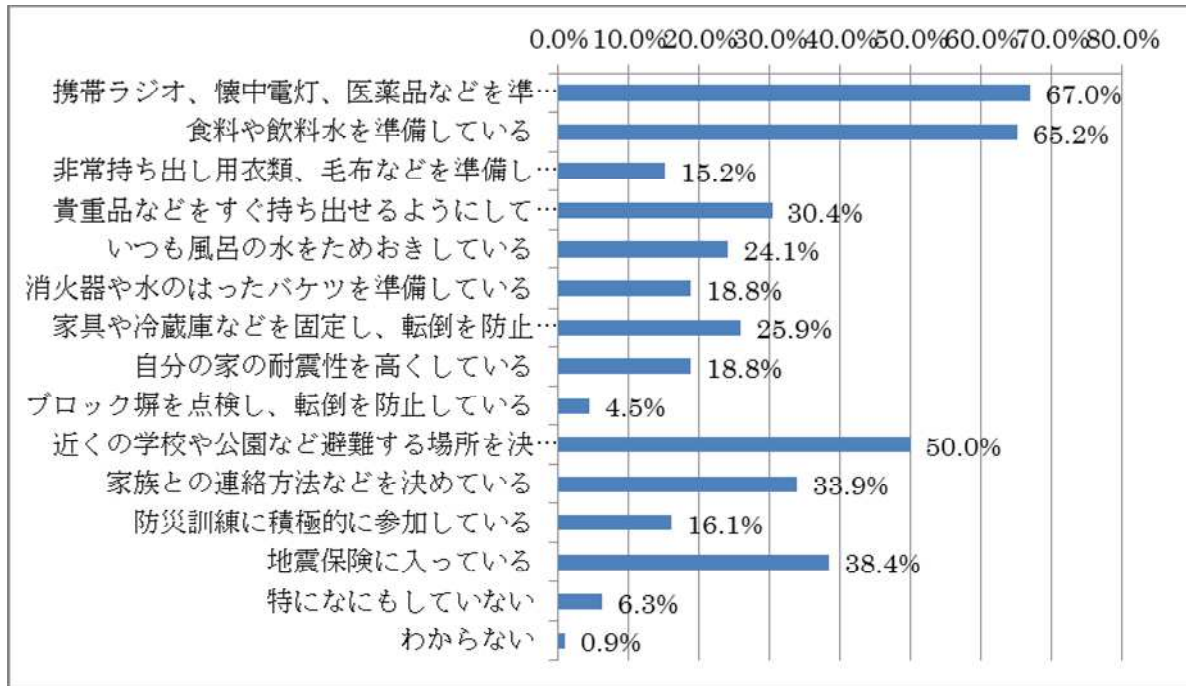
回答された方のお住まいの地区は以上のとおりです。

問4 あなたの家では、地震等の災害に備えてどのような対策を行っていますか。

(回答はいくつでも)

- 1 携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している
- 2 食料や飲料水を準備している
- 3 非常持ち出し用衣類、毛布などを準備している
- 4 貴重品などをすぐ持ち出せるようにしている
- 5 いつも風呂の水をためおきしている
- 6 消火器や水のはったバケツを準備している
- 7 家具や冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している
- 8 自分の家の耐震性を高くしている
- 9 ブロック塀を点検し、転倒を防止している
- 10 近くの学校や公園など避難する場所を決めている
- 11 家族との連絡方法などを決めている
- 12 防災訓練に積極的に参加している
- 13 地震保険に入っている
- 14 特になにもしていない
- 15 わからない

選択肢	回答数	回答分布
携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している	75	67.0%
食料や飲料水を準備している	73	65.2%
非常持ち出し用衣類、毛布などを準備している	17	15.2%
貴重品などをすぐ持ち出せるようにしている	34	30.4%
いつも風呂の水をためおきしている	27	24.1%
消火器や水のはったバケツを準備している	21	18.8%
家具や冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している	29	25.9%
自分の家の耐震性を高くしている	21	18.8%
ブロック塀を点検し、転倒を防止している	5	4.5%
近くの学校や公園など避難する場所を決めている	56	50.0%
家族との連絡方法などを決めている	38	33.9%
防災訓練に積極的に参加している	18	16.1%
地震保険に入っている	43	38.4%
特になにもしていない	7	6.3%
わからない	1	0.9%

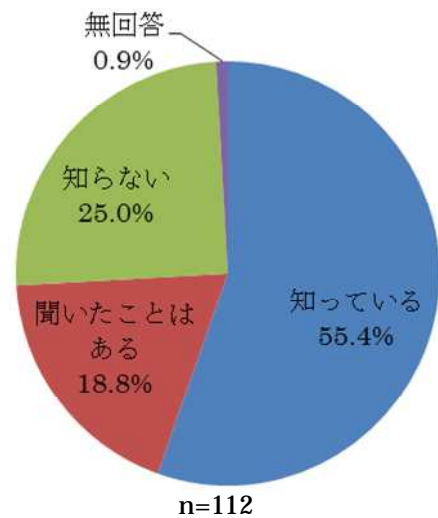


「携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している」が最も多く67.0%、次いで「食料や飲料水を準備している」が65.2%、「近くの学校や公園など避難する場所を決めている」が50.0%という結果となりました。

問5 - 1 あなたは、平成28年3月に全世界帯に配布された防災ガイドブックを知っていますか。（回答は1つ）

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

選択肢	回答数	回答分布
知っている	62	55.4%
聞いたことはある	21	18.8%
知らない	28	25.0%
無回答	1	0.9%
計	112	100.0%



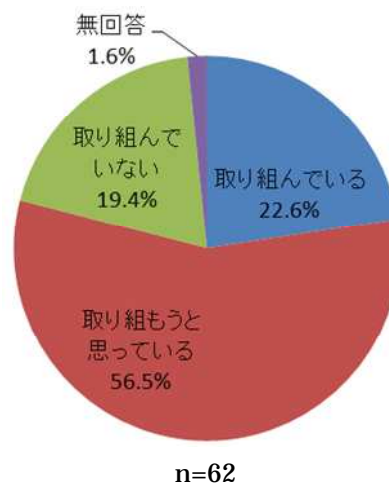
「知っている」が55.4%という結果となりました。

《問5 - 1で、「1 知っている」とお答えの方へ》

問5 - 2 あなたは、平成28年3月に全世帯に配布された防災ガイドブックを読んで何か取り組んでいますか。（回答は1つ）

- 1 取り組んでいる
- 2 取り組もうと思っている
- 3 取り組んでいない

選択肢	回答数	回答分布
取り組んでいる	14	22.6%
取り組もうと思っている	35	56.5%
取り組んでいない	12	19.4%
無回答	1	1.6%
計	62	100.0%



「取り組もうと思っている」が、56.5%という結果となりました。

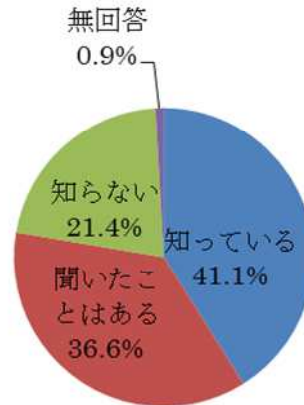
【避難情報の認知度について】

問6 あなたは、「避難準備・高齢者等避難開始<sup>1</sup>」を知っていますか。(回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

1 避難に時間を要する高齢者等の災害時要援護者やその支援者が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が高まった状況で市が発令する情報

選択肢	回答数	回答分布
知っている	46	41.1%
聞いたことはある	41	36.6%
知らない	24	21.4%
無回答	1	0.9%
計	112	100.0%



「知っている」が、41.1%という結果となりました。

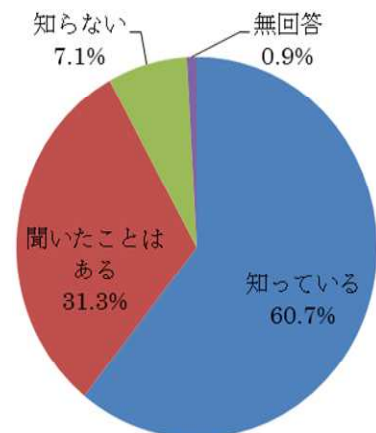
n=112

問7 あなたは「避難勧告<sup>2</sup>」を知っていますか。(回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

2 通常の避難ができる方が避難を始めなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況で市が発令する情報

選択肢	回答数	回答分布
知っている	68	60.7%
聞いたことはある	35	31.3%
知らない	8	7.1%
無回答	1	0.9%
計	112	100.0%



「知っている」が、60.7%という結果となりました。

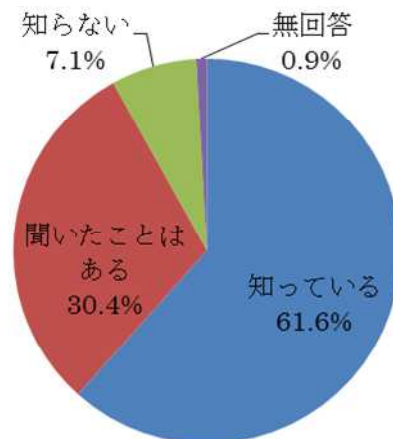
n=112

問8 あなたは、「避難指示（緊急）<sup>3</sup>」を知っていますか。（回答は1つ）

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

3 人的被害の発生する危険性が非常に高まった状況、あるいは既に人的被害が発生した状況で市が発令する情報

選択肢	回答数	回答分布
知っている	69	61.6%
聞いたことはある	34	30.4%
知らない	8	7.1%
無回答	1	0.9%
計	112	100.0%



「知っている」が、61.6%という結果となりました。

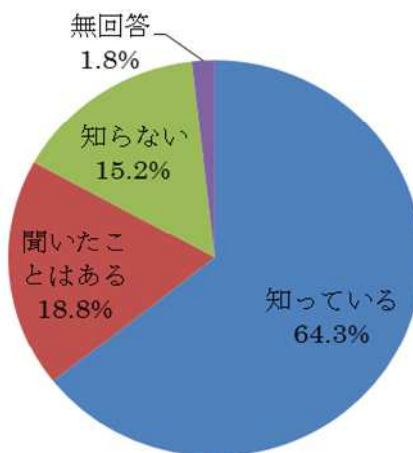
#### 【避難場所、避難所の認知度について】

問9 あなたは、地域の自治会が選定している「一時避難場所<sup>4</sup>」を知っていますか。（回答は1つ）

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

4 地震により火災や建物の倒壊等が発生した場合、一時的に様子を見るための場所として、地域の自治会が選定している場所

選択肢	回答数	回答分布
知っている	72	64.3%
聞いたことはある	21	18.8%
知らない	17	15.2%
無回答	2	1.8%
計	112	100.0%



「知っている」が、64.3%という結果となりました。

n=112

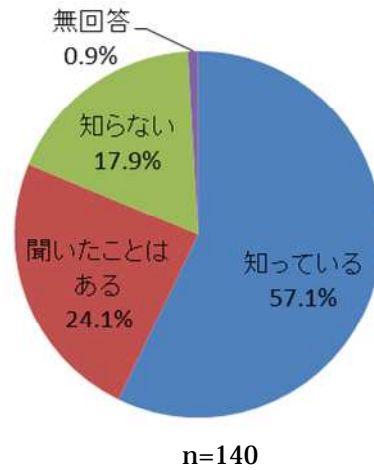


問10 あなたは、市が指定している「広域避難場所<sup>5</sup>」を知っていますか。(回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

5 地震により同時に多くの火災が発生し燃え広がった場合、火煙やふく射熱から身を守る場所として、市が指定している場所

選択肢	回答数	回答分布
知っている	64	57.1%
聞いたことはある	27	24.1%
知らない	20	17.9%
無回答	1	0.9%
計	112	100.0%

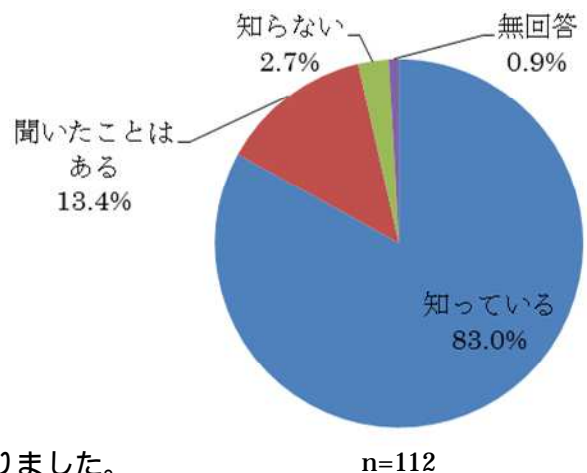


「知っている」が、57.1%という結果となりました。

問11 あなたは、災害発生時、被災した人を受け入れるために小・中学校などが避難所となっていることを知っていますか。(回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

選択肢	回答数	回答分布
知っている	93	83.0%
聞いたことはある	15	13.4%
知らない	3	2.7%
無回答	1	0.9%
計	112	100.0%

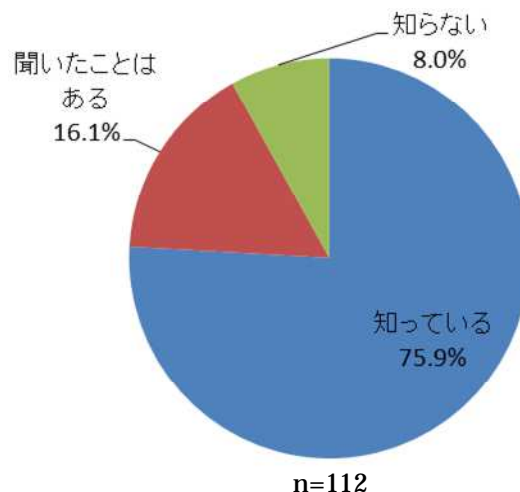


「知っている」が、83.0%という結果となりました。

問 1 2 あなたは、洪水や土砂災害の時の避難場所として小・中学校などが風水害時避難場所となっていることを知っていますか。(回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

選択肢	回答数	回答分布
知っている	85	75.9%
聞いたことはある	18	16.1%
知らない	9	8.0%
計	112	100.0%



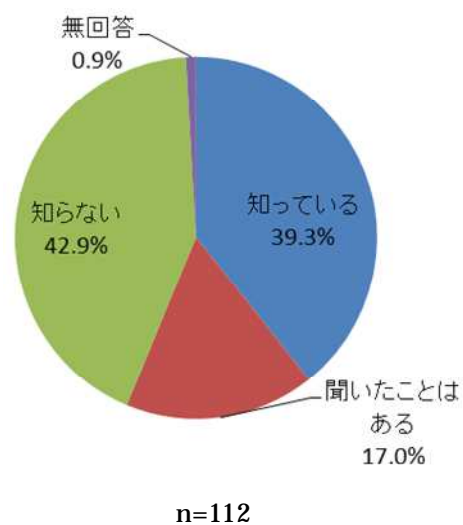
「知っている」が、75.9%という結果となりました。

問 1 3 あなたは、「ローリングストック<sup>6</sup>」を知っていますか。(回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

6 日常生活で使用する水や食料を多めに備蓄しておき、消費したら補充するという備蓄方法

選択肢	回答数	回答分布
知っている	44	39.3%
聞いたことはある	19	17.0%
知らない	48	42.9%
無回答	1	0.9%
計	112	100%

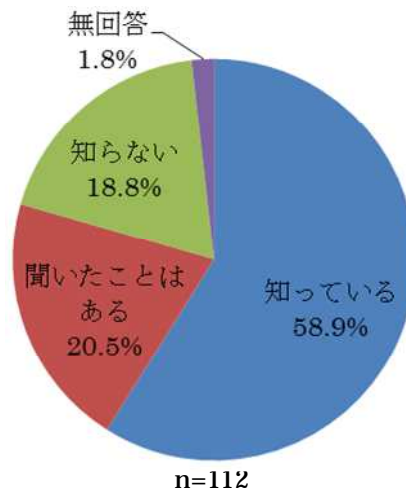


「知っている」が、39.3%という結果となりました。

問14 あなたは、災害時に停電が発生し、停電が復旧した時に発生する火災「通電火災」を知っていますか。(回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

選択肢	回答数	回答分布
知っている	66	58.9%
聞いたことはある	23	20.5%
知らない	21	18.8%
無回答	2	1.8%
計	112	100.0%



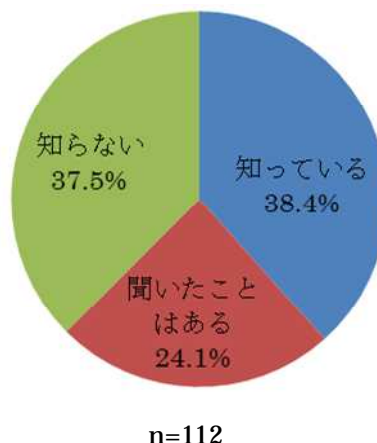
「知っている」が、58.9%という結果となりました。

問15-1 あなたは、「感震ブレーカー」を知っていますか。(回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

7 地震の強い揺れにより自動的に電気の供給を遮断し、通電時の出火を防止することができるもの

選択肢	回答数	回答分布
知っている	43	38.4%
聞いたことはある	27	24.1%
知らない	42	37.5%
計	112	100.0%



「知っている」が、38.4%という結果となりました。

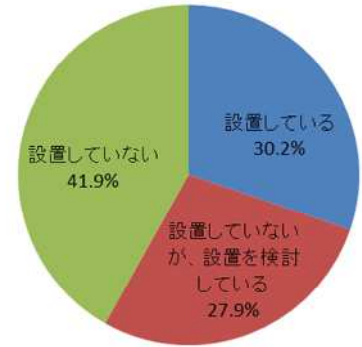
《問15 - 1で、「1 知っている」とお答えの方へ》

問15 - 2 あなたは「感震ブレーカー<sup>7</sup>」を設置していますか。(回答は1つ)

- 1 設置している
- 2 設置していないが、設置を検討している
- 3 設置していない

7 地震の強い揺れにより自動的に電気の供給を遮断し、通電時の出火を防止することができるもの

選択肢	回答数	回答分布
設置している	13	30.2%
設置していないが、設置を検討している	12	27.9%
設置していない	18	41.9%
計	43	100.0%



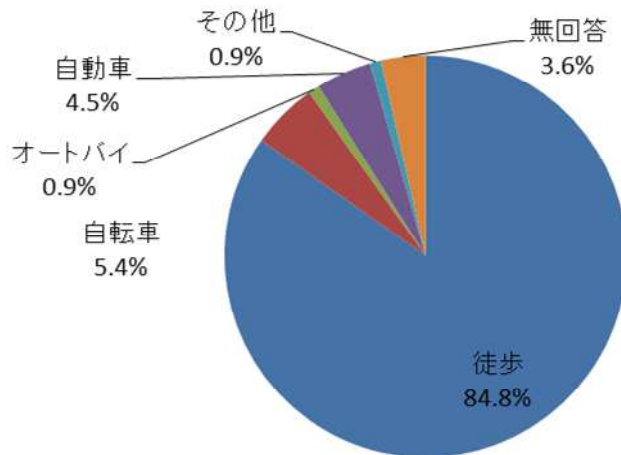
「設置している」が、30.2%という結果となりました。

n=43

問16 あなたは、災害時に、どのような手段で避難しますか。(回答は1つ)

- 1 徒歩
- 2 自転車
- 3 オートバイ
- 4 自動車
- 5 その他( )

選択肢	回答数	回答分布
徒歩	95	84.8%
自転車	6	5.4%
オートバイ	1	0.9%
自動車	5	4.5%
その他	1	0.9%
無回答	4	3.6%
計	112	100.0%



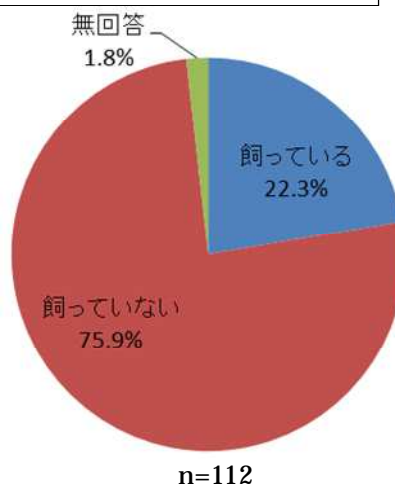
n=112

「徒歩」が、84.8%という結果となりました。

問17-1 あなたは、ペットを飼っていますか。(回答は1つ)

- 1 飼っている
- 2 飼っていない

選択肢	回答数	回答分布
飼っている	25	22.3%
飼っていない	85	75.9%
無回答	2	1.8%
計	112	100.0%



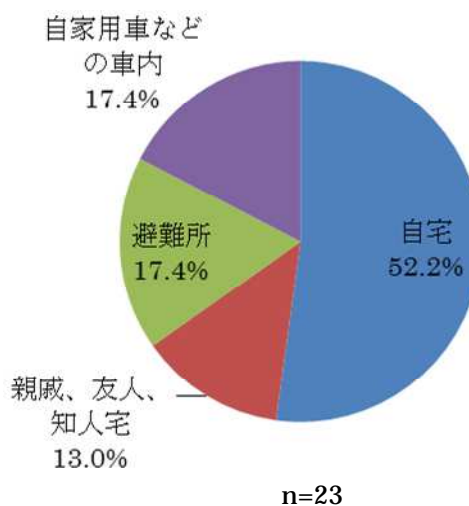
「飼っている」が、22.3%という結果となりました。

《問17-1で、「1 飼っている」とお答えの方へ》

問17-2 あなたは、災害時の避難生活で、ペットをどこで生活させる予定ですか。(回答は1つ)

- 1 自宅
- 2 親戚、友人、知人宅
- 3 避難所
- 4 自家用車などの車内
- 5 その他

選択肢	回答数	回答分布
自宅	12	52.2%
親戚、友人、知人宅	3	13.0%
避難所	4	17.4%
自家用車などの車内	4	17.4%
計	23	100.0%

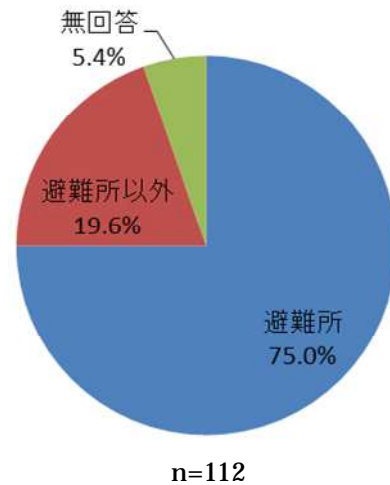


「自宅」が、52.2%という結果となりました。

【問18-1】 自宅が被災し、自宅に住むことができなくなった場合、どこに避難したいですか。(回答は1つ)

- |         |
|---------|
| 1 避難所   |
| 2 避難所以外 |

選択肢	回答数	回答分布
避難所	84	75.0%
避難所以外	22	19.6%
無回答	6	5.4%
計	112	100.0%



「避難所」が、75.0%という結果になりました。

《【問18-1】で、「2 避難所以外」とお答えの方へ》

【問18-2】 なぜ避難所を選ばないのか理由をお聞かせください。

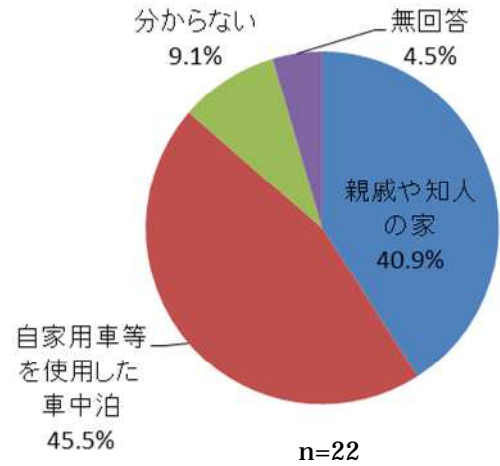
飼っている犬を連れて避難所生活は難しいと思う為。
他人との共同生活にストレスを感じると思うから。
体力的に無理だから。体があまり丈夫ではないので
義父宅が地震に強い家に建て替えたのでそこに行く。たくさんの方が居るので体調を崩しそうだから。
妊娠中のため。
プライベートもなくストレスがたまりそうだから。下の子どもまだ小さいので...
ストレスを感じる。
経験が無くどのような状態かによって選ぶ。
気を遣わずにすごしたい。

《【問18-1】で、「2 避難所以外」とお答えの方へ》

【問18-3】 避難所以外とはどのような場所を想定していますか。(回答は1つ)

- 1 親戚や知人の家
- 2 自家用車等を使用した車中泊
- 3 分からない

選択肢	回答数	回答分布
親戚や知人の家	9	40.9%
自家用車等を使用した車中泊	10	45.5%
分からない	2	9.1%
無回答	1	4.5%
計	22	100.0%



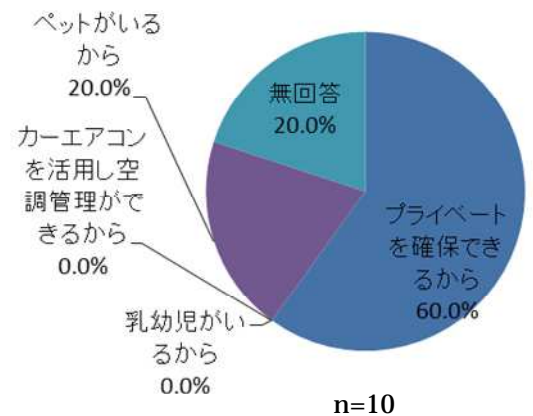
「自家用車等を私用した車中泊」が、45.5%という結果になりました。

《【問18-3】で、「2 自家用車等を使用した車中泊」とお答えの方へ》

【問18-4】 なぜ車中泊を選びましたか。(回答は1つ)

- 1 プライベートを確保できるから
- 2 カーエアコンを活用し空調管理ができるから
- 3 乳幼児がいるから
- 4 ペットを飼っているから
- 5 その他( )

選択肢	回答数	回答分布
プライベートを確保できるから	6	60.0%
カーエアコンを活用し空調管理ができるから	0	0.0%
乳幼児がいるから	0	0.0%
ペットがいるから	2	20.0%
無回答	2	20.0%
計	10	100.0%



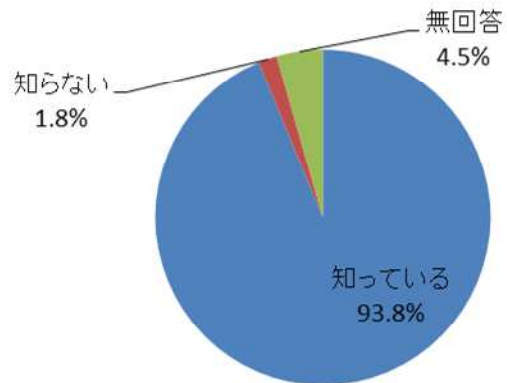
「プライベートを確保できるから」が、60.0%という結果になりました。

【問19】 車中泊など狭いスペースで生活を行うことでリスクが高まると言われている「エコノミークラス症候群<sup>8</sup>」を知っていますか。(回答は1つ)

- |         |
|---------|
| 1 知っている |
| 2 知らない  |

8 食事や水分を十分に取らない状態で、車などの狭い座席に長時間座っていて足を動かさないと、血行不良が起こり、血液が固まりやすくなり、血の固まり（血栓）が血管の中を流れ、肺に詰まって肺塞栓などを誘発する恐れのある病気。

選択肢	回答数	回答分布
知っている	105	93.8%
知らない	2	1.8%
無回答	5	4.5%
計	112	100.0%



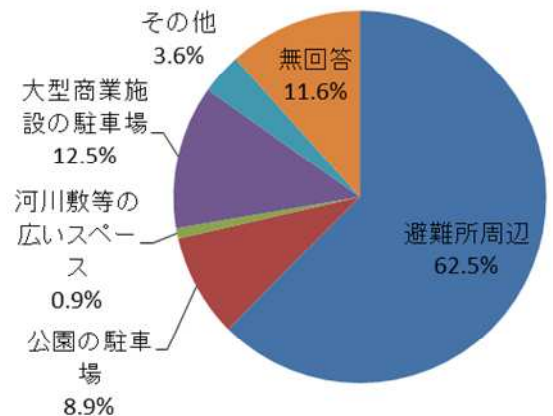
「知っている」が、45.5%という結果になりました。

n=112

【問20】 あなたが車中泊を選択した場合にどこに避難しますか。(回答は1つ)

- |               |
|---------------|
| 1 避難所周辺       |
| 2 公園の駐車場      |
| 3 河川敷等の広いスペース |
| 4 大型商業施設の駐車場  |
| 5 その他 ( )     |

選択肢	回答数	回答分布
避難所周辺	70	62.5%
公園の駐車場	10	8.9%
河川敷等の広いスペース	1	0.9%
大型商業施設の駐車場	14	12.5%
その他	4	3.6%
無回答	13	11.6%
計	112	100.0%



「避難所周辺」が、62.5%という結果になりました。

n=112



問 2 1 最後に防災に関してのご意見などございましたらご自由にご記入ください。

備蓄等災害への備えについて

<p>・ 1.個人における防災の必要性 災害に備えて出来る限り・問 4 の項目の対応を行うこと・避難場所、避難場を認知していること</p> <p>2.行政における防災の対応について</p> <p>1)すでに配布された防災ガイドブックの周知徹底(項目を 1 又 2 に分けて作成し配布する)</p> <p>2) 避難情報の徹底(問 6、問 7、問 8)</p> <p>言うまでもなく、遅滞なく迅速に周知する</p>
<p>・ 感震ブレーカーを設置するには費用がどの位掛かるかわかりません。高額であれば手が出ません。備蓄品、特に食料の保管 3 日分が限界です。それ以上は、どうして保管すれば良いのでしょうか。</p>
<p>・ 防災の備えを怠っていていろいろな物を買うのが大変だ。</p>
<p>・ 地震大国である日本を考えると、いつ起きてもおかしくない状況下では何を普段からしたらと考えています。最低 3 日間の備蓄は心掛けています。それ以上必要となったらどうするかは不安です。避難場所が分かっていけませんので、教えて欲しい。トイレの準備がどうなるかは、不安のひとつです。</p>
<p>・ 食料や飲料水は備蓄しているものの、災害時に持ち出す事ができる冷静さが自分にあるか不安がある。</p>
<p>・ 家では、去年、防災セットを色々そろえました(雑誌を参考にしながら)。半年に 1 回 3 月と 9 月に食料の期限、電気がつくかなど点検しています。会社で防災の話をしたら、ほとんどの人が何も準備していないということでした。数日間は自宅にあるもので過ごせないと、避難所の品が足りなくなるのでは、と思います。あじさい(高齢者)大学で防災学の講座があるといいと思います。防災セットを購入したり、体育館でのパーティーの作り方等、学んでおいて損はないことだと思います。</p>
<p>・ いろいろな情報は、知っているが、実際何もしていない。簡易トイレやカンパンなど、用意してあるものの、すぐに取り出せない。もっと災害を身近に感じて、そなえておかなければいけないと思う。非常持出袋を見直して、誰でもすぐに持ち出せる様にしておきたいと思う。</p>
<p>・ 自治体・自治会の備蓄品について詳しく知りたい(どのようなものがどのくらいあるのか)</p>

## 避難について

・災害発生時の避難場所（小学校）に行くつもりですが、そこでの生活対応の方法を把握していない。必要な住民が収容できるのか。飲料水は問題ないのか。シミュレーション・訓練が必要ではないか。ペット（特に大型犬）は、問題の種となると思われる。飼主がしっかりしている（常識的）人なら良いのですが。非常時放送（ひばり放送）は、雨の時等は全然聞こえない。情報展開・収集の方法を明確にする必要有。リーダー教育を充分に行って欲しい。

・学校や大きな公園に「避難所」と看板があるのを見ますが自分の住んでいる所からは、学校へ行けばいいのか、総合体育館に行けばいいのか迷う。個別に、地図を「避難所」（広域と一時）の差など記載された物を配ってほしい。冊子ではなくて厚手のカード状で、見ただけでわかる様な物がいいです。

・支援物資は避難場所にいなくても、もらえるという事を聞きました（自宅避難であっても、食料、飲料はもらいに行ってもいいと聞きました）（アドバイザーの方から）避難場所まで行くのに急な坂道があり、崩れてきたら、かえってあぶないので、震度3位だと我が家の周辺は地盤が固いので、あまり揺れないので、震度6~7の地震が来たとしても他よりは、揺れが少ないと思う。避難する時に危険が伴うようでしたら、自宅の玄関とか、リビングの戸を開けて逃げ道を確保し、しばらくは様子を見たいと思う。そして落ち着いて（自治会や市の勧告）を待ちたいと思う。自分の命は自分で守らなければならないので、1度徒歩で時間を計りながら根小屋小学校まで行ってみたい。車で移動しても良いのかも、聞いておきたい。できれば自宅の庭や私道で車の中で過ごしたい。車のガソリンは空にはしないで常に余裕があるように残しておきたい。

・実際に避難経験がないので、防災に関しては、他人事のように思える。知らないことが多いので、もっと親しみやすいもので情報発信してほしい。

・道幅が狭い箇所が多いので、避難が迅速かつ安全に行えるのか不安になる。バスが通る道路でさえ、片方一車線な点も緊急を要する救急車両が通れなくなるのではないかと心配。

・実際に避難を体験したことがないので、イメージがわからない。どういったことが苦痛だったり、逆に楽しみだったりするのか、これまでの避難の実例から市政にいかしてほしい。

・防災ガイドブックは、比較的分かりやすく纏められていますが、一時避難場所、広域避難場所、避難所との相関関係がよく分かりません。避難所とされています小学校までの距離が遠く、現実的ではないような気がします。

・避難場所である小中学校・公民館などの受け入れ態勢、キャパシティなどの情報を公開してほしい。市役所近くに住んでいるので中央区役所、中央小学校、富士見小学校、富士見公民館など幸いにも候補が多くどこに行けば一番有効か知りたい。まず一時避難場所に行くべきなのか。このアンケートを通じて何も知らなかったことに愕然としている。

## ペットについて

- |   |
|---|
| <p>・こんなにもテレビで災害について報道されているのに、自分の地域は大丈夫だといってしまう。犬を飼っているので、いざという時は、必ず一緒に避難します。</p>  |
| <p>・ペットを飼っている者には、ペットは家族です。家族を置いて自分だけ避難所に行く事はできません。地域ごとに必ずペット同伴の避難所を設けて下さい。また、動物病院にも協力していただき避難所として開放してもらえよう市からもお願いして欲しい。もっと防災、備蓄に力を入れ、災害に強い街、相模原をめざして欲しい</p> |
| <p>・ペットの居る家庭の避難生活をもう少し考えていただきたいと思います。</p>   |
| <p>・避難中のペットが心配。一緒に入れる避難所か一時的な預かり所等がほしい。</p>   |

## その他

- |  |
|--|
| <p>・以前防災マイスターの方に災害が起きて避難所で一番困った事は断水でトイレが使えなかった事とか。これからもっと防災の知識、勉強したいと思っています。</p>   |
| <p>・今までの被災した人達の体験を元に実際に役にたつ支援ができるようにしてほしい。エレベーターのない団地等、身体の不自由な人、足腰が弱っている人等 階下にどのようにして運ぶのか具体的に考えて実際にやってみた方が良いのでは...? と思います。近所の人達との親睦をかねて（顔会わせも）年に1度炊き出しをやってみるのはいかがでしょう。</p> |
| <p>・日頃の防災意識を高め、シミュレーションしておく必要があると感じました。</p>  |
| <p>・このアンケートで改めて思ったのですが、テレビからの知識で深く知る事ができた事がたくさんありました。若い方は、ネットやスマホで知識は豊富だと思いますが、私はスマホも何もないので、テレビで被災者の方々の体験や、アナウンサーの方の説明などから、とても学ぶ事、また記憶に残るインパクトが多々ありました。防災の準備頑張ります。</p>     |
| <p>・自治会の防災訓練に参加する人が少ない 具体的に高齢者や時間がかかる人を誰がどの人を助けるか具体的に決めておく必要あると思い自治会で話し合う予定です。</p>   |
| <p>・防災訓練に参加した時や各地で実際に被害があった時には自分の意識も高くなります。しかし、そのうちに忘れてしまって...。気付けば非常食の賞味期間が切れていたりします。これじゃあダメですね！ 今後、もっともっと取り組んでいきます。</p>  |
| <p>・今回の市政モニターアンケートで、さがみはら防災ガイドブックを改めて読み返し、大変勉強になりました。北海道地震でいつ起きるかわからない、他人事ではないと痛感しており、家族との連絡方法や家具転倒防止など検討したいと思います。</p>   |
| <p>・避難訓練等の大切さを認識していますが、なかなか参加する機会がありません。（日程等が合わない）ここ最近の自然災害を見るたびに自分は大丈夫ではなくいつ災害にあってもその災害を乗り越える知識を身に着けたいと思うこの頃です。9月1日の防災の日に合わせて訓練だけではなく、いつでも体験ができる場所が市内にあればと思います。</p>       |